



参考資料1-1

依存症専門医療に関する 調査の結果について

神奈川県健康医療局
保健医療部がん・疾病対策課
令和8年8月

目次

Agenda

1

調査の概要

2

調査結果の概要

目次

Agenda

1

調査の概要

2

調査結果の概要

1 調査の概要

【調査方法】

調査期間

R7.12.19 ~ R8.1.31

調査対象地域

神奈川県内の依存症専門医療機関のない地域
(横浜市、相模原市、秦野市、横須賀市以外の地域)

調査対象者

医療機関、民間支援者、行政機関

「かながわ依存症ポータルサイト」及び厚生労働省が提供する「医療情報ネット（ナビイ）」に登録、令和2年度に県が実施した「依存症に係る社会資源実態調査」における対象医療機関や支援団体等の中から選定

調査方法

自計式（郵送・メール）

※回答内容により、電話等での追加聞き取り等を実施

1 調査の概要

【調査項目】

- (1) 依存症への対応状況について
- (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて
- (3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

1 調査の概要

【調査内容】

	設問内容	医療 機関	民間 支援 者	行政 機関
1-1	依存症の外来（相談）対応可能分野について	●	●	
—	月のおおよその外来（相談）患者数について ※内部情報につき非公開	●	●	●
1-2	患者本人や家族に対する相談支援の有無について		●	●
1-3	依存症の診療に関する対応状況について	●		
1-4	依存症（アルコール、ギャンブル、薬物）に関して紹介・連携関係のある機関について	●	●	●
1-5	所在地について	●	●	●
2-1-1	依存症の専門的治療が可能な医療機関の不足について	●	●	●
2-1-2	依存症の専門的な治療が可能な医療機関が不足していると感じる理由や困っていることについて	●	●	●
2-2-1	患者またはその家族の、近隣における依存症の専門的治療のニーズについて	●	●	●
2-2-2	実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて	●	●	●

1 調査の概要

【調査内容】

	設問内容	医療 機関	民間 支援 者	行政 機関
3-1	精神保健指定医又は公益社団法人日本精神神経学会認定の精神科専門医の配置について	●		
3-2	依存症の専門性を有した医師が担当する入院医療の実施について	●		
3-3	認知行動療法などの依存症に特化した専門プログラムを有する外来医療の実施について	●		
3-4	依存症に係る研修のいずれか一つを修了した医師の配置について	●		
3-5	依存症に係る研修を修了した看護師、作業療法士、精神保健福祉士又は臨床心理技術者の配置について	●		
3-6-1	依存症専門医療機関として県の指定を受けることについての検討状況について	●		
3-6-2	「指定を希望していない」または「迷っている」理由について	●		
3-7	依存症専門医療機関として指定された場合に医療機関として期待する効果（メリット）について	●		

目次

Agenda

1

調査の概要

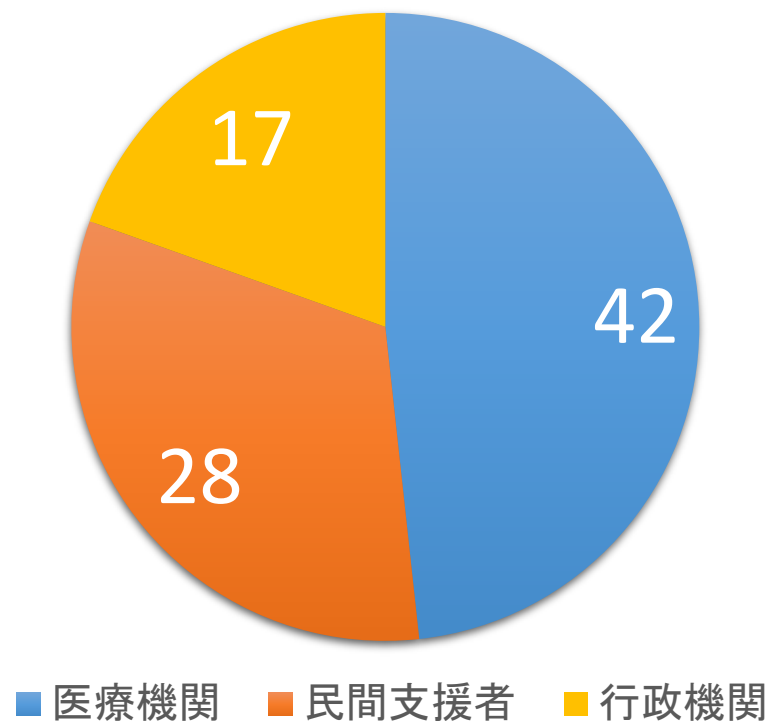
2

調査結果の概要

2 調査結果の概要

【調査結果】

回答機関数 **87**機関



* 回答状況

分類	送付数	有効回答数	回答率
医療機関	108	42	38.9%
民間支援者	28	28	100.0%
行政機関	19	17	89.5%
計	155	87	56.1%

2 調査結果の概要

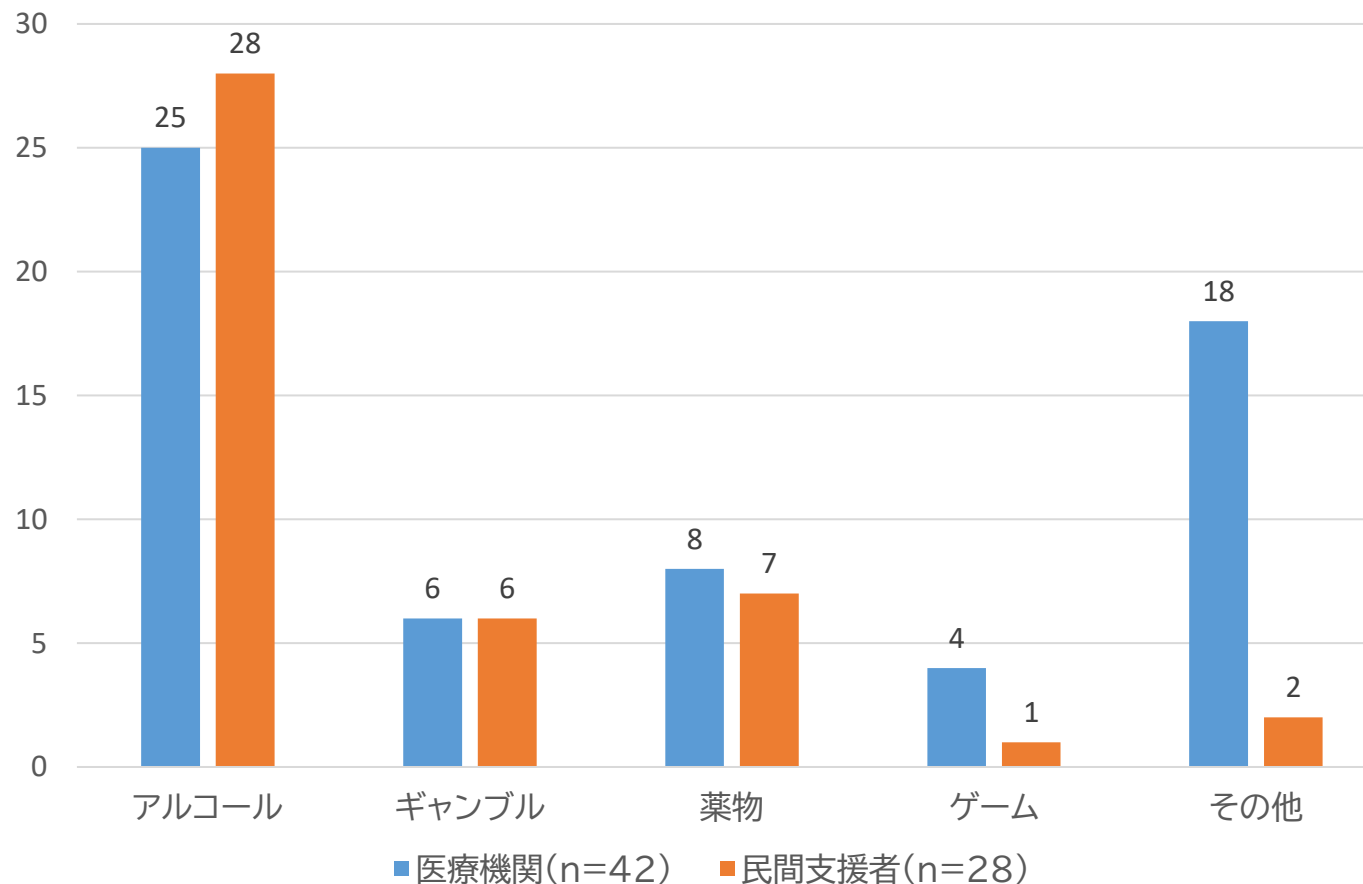
【調査項目】

- (1) 依存症への対応状況について
- (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて
- (3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

2 調査結果の概要

(1) 依存症への対応状況について

① 依存症の外来（相談）対応可能分野について教えてください(複数回答)



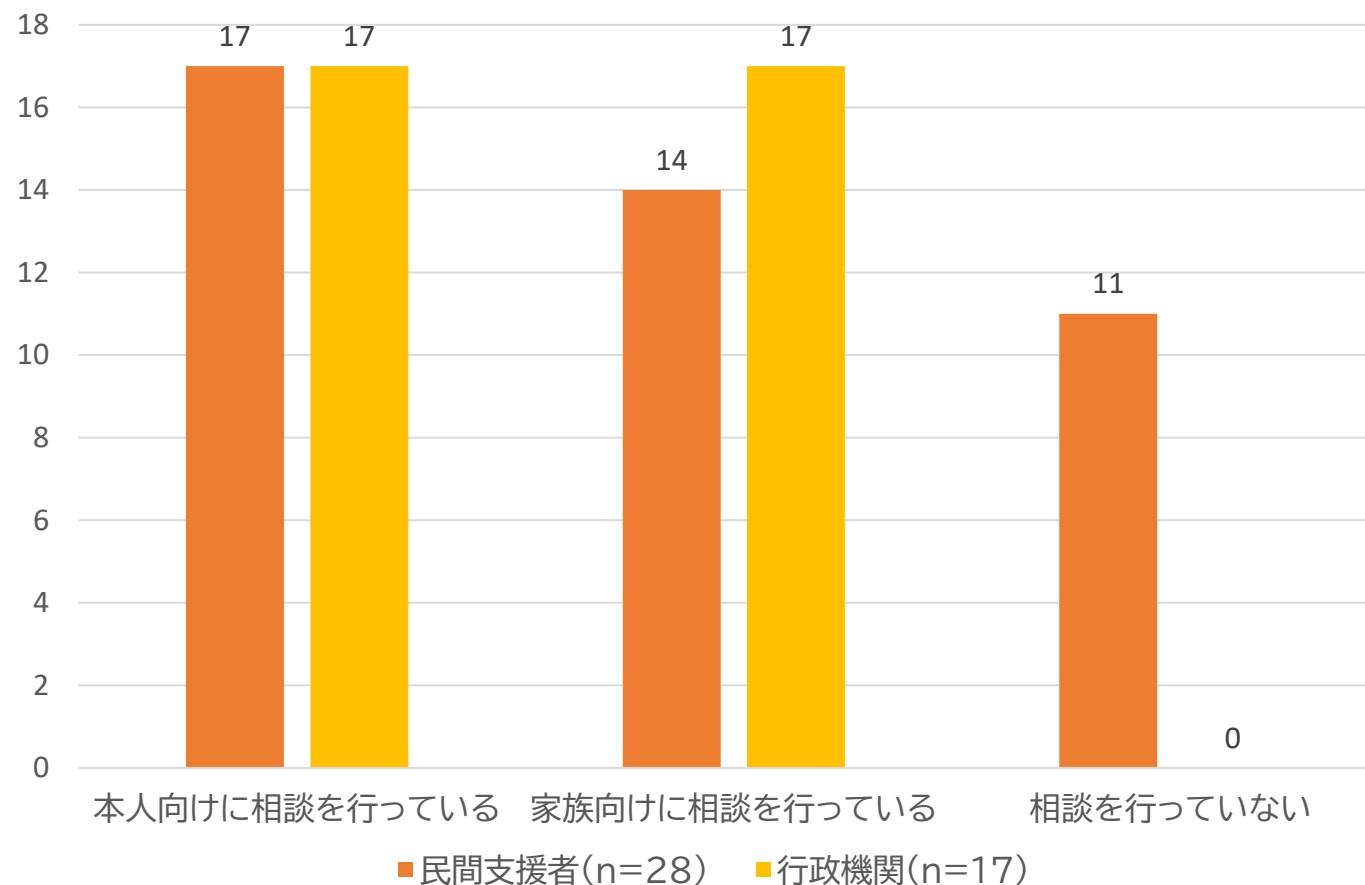
【その他】

- 医療機関：依存症以外の精神疾患（14件）、SNS・ネット・DV・虐待、ニコチンなど
- 民間支援者：性犯罪

2 調査結果の概要

(1) 依存症への対応状況について

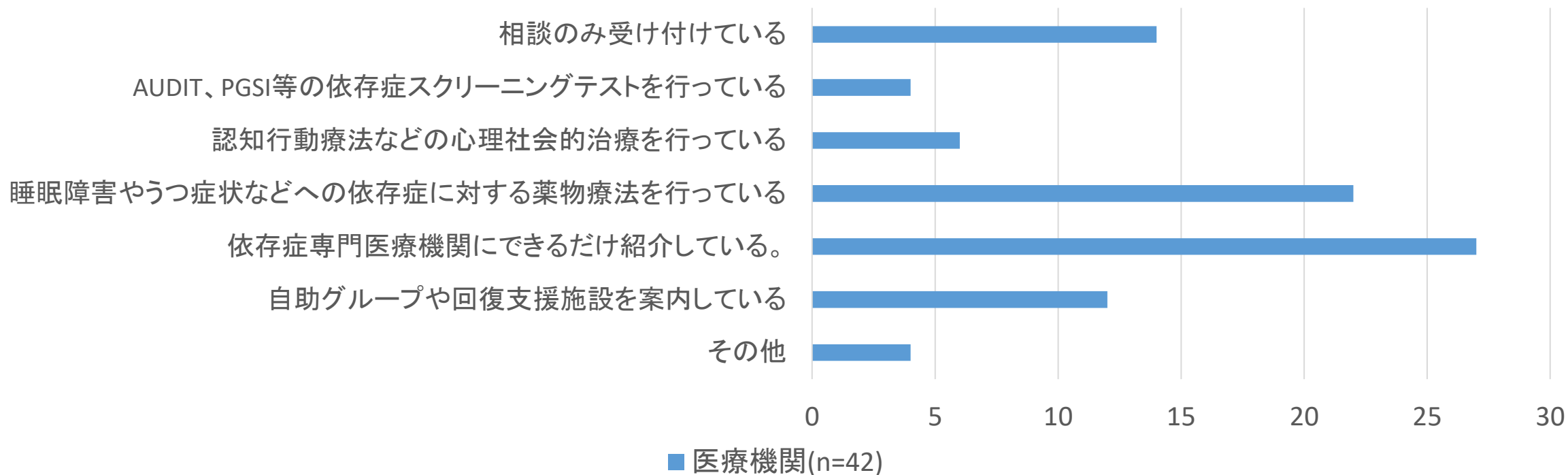
②患者本人や家族に対する相談支援の有無を教えてください。(複数回答)



2 調査結果の概要

(1) 依存症への対応状況について

③依存症の診療に関する対応状況について教えてください(複数回答)



【その他】

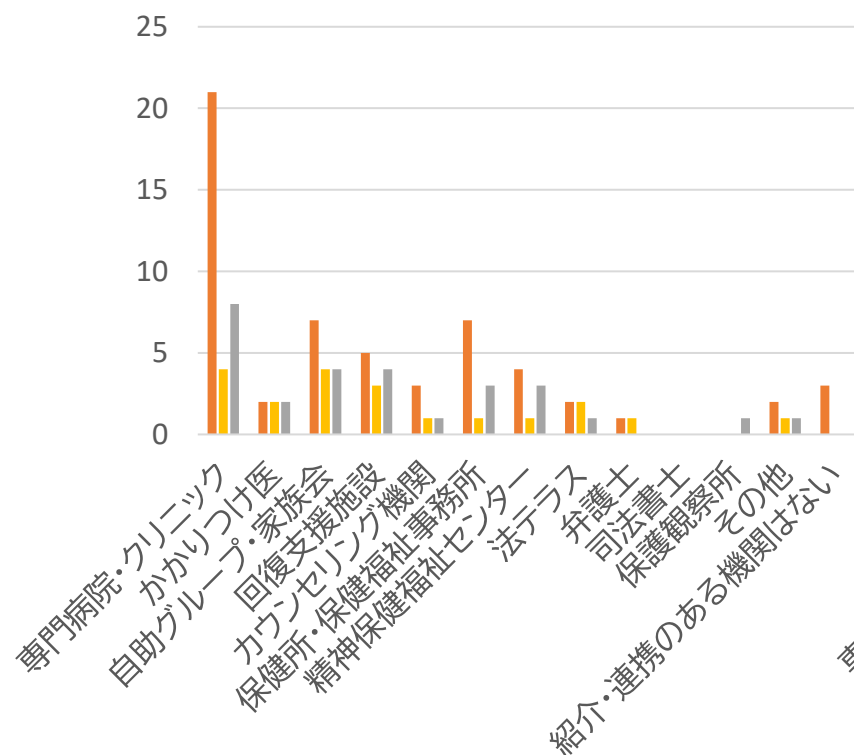
●医療機関

- ・当初の受診目的を達成し、必要があれば依存症専門医療に紹介している。
- ・小康状態の患者様の治療継続と必要に応じて専門医への紹介。
- ・アルコール肝障害に対しては治療。
- ・他科入院時に明らかになった際には、専門医療機関を紹介している。

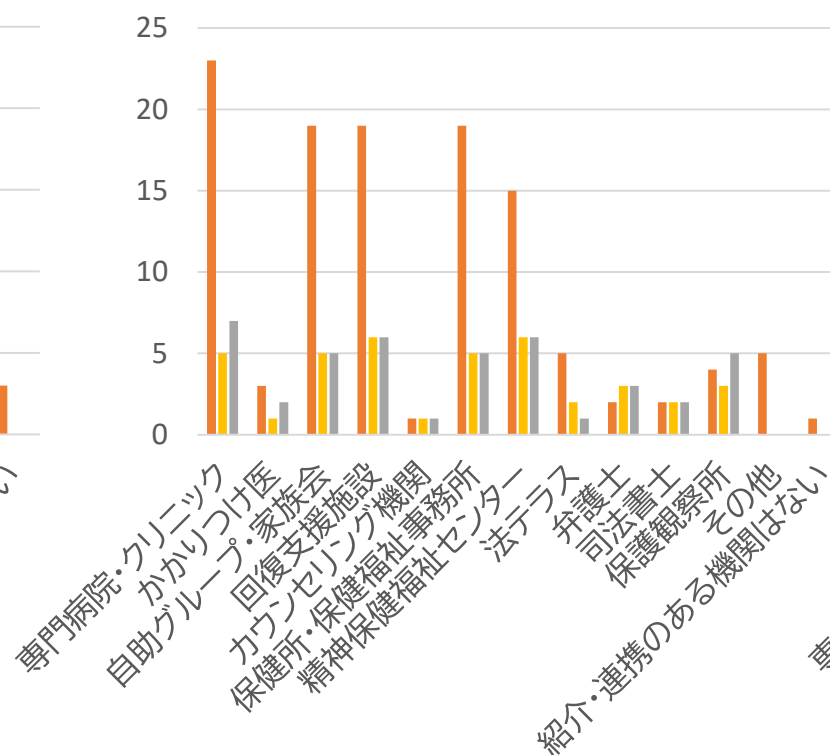
2 調査結果の概要 (1) 依存症への対応状況について

④ 依存症（アルコール、ギャンブル、薬物）に関して紹介・連携関係のある期間についておしえてください(複数回答)

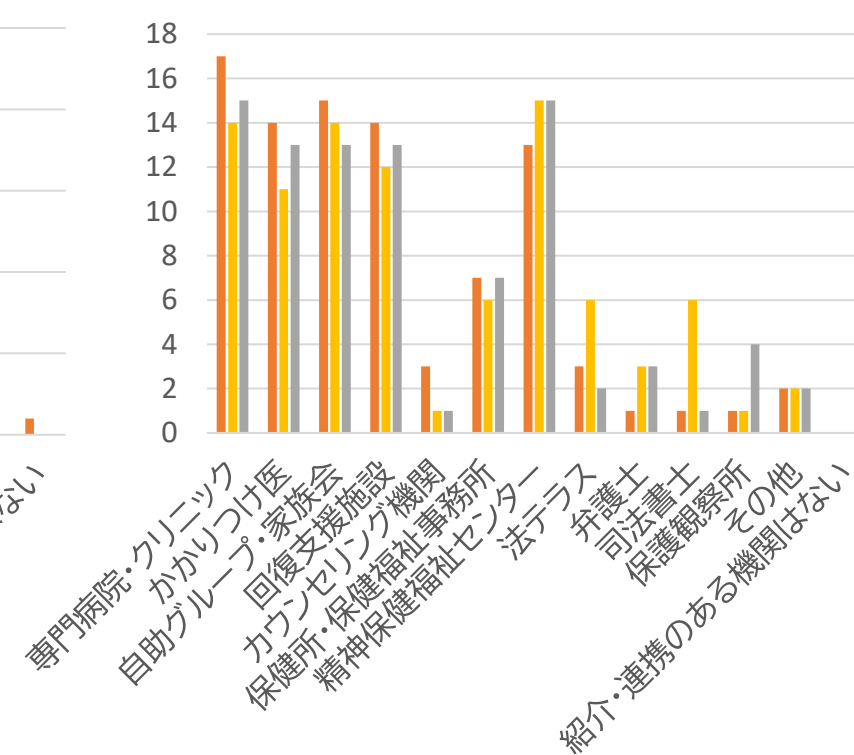
医療機関



民間支援者



行政



■ アルコール(n=25) ■ ギャンブル(n=6) ■ 薬物(n=8)

■ アルコール(n=28) ■ ギャンブル(n=6) ■ 薬物(n=7)

■ アルコール(n=17) ■ ギャンブル(n=17) ■ 薬物(n=17)

2 調査結果の概要

(1) 依存症への対応状況について

⑤貴団体の所在地について教えてください

地域(二次医療圏ごと)	医療機関	民間支援者	行政機関
横浜	—	—	1※
川崎	11	7	7
横須賀・三浦	7	4	2
湘南東部	12	4	1
湘南西部	4	3	2
県央	4	7	2
県西	4	3	2
合計	42	28	17

※支援対象となる者の所在地に依存症専門医療機関がない地域を含むため、本調査の集計対象とした。

2 調査結果の概要 (1) 依存症への対応状況について

まとめ



医療機関

◆ 依存症の外来対応が可能な分野について

- ・アルコール依存症が最も多く、全体の4割を超えた。
- ・一方、ギャンブル等や薬物に対応している医療機関は、それぞれ全体の2割を下回った。
- ・また、「その他」と回答している医療機関が多く、一般的な精神科診療の中で一時的に依存症患者を受け入れている医療機関が14件あり、全体の3割を占めている。

◆ 依存症の診療に関する状況について

- ・依存症専門医療機関にできるだけ紹介しているケースが最も多く、全体の6割を超えた。

◆ 依存症（アルコール、ギャンブル、薬物）に関して紹介・連携関係のある機関について

- ・アルコール依存症：8割以上は専門病院やクリニックと紹介・連携している。
- ・ギャンブル等依存症：多くが、専門病院クリニック、自助グループ・家族会、回復支援施設と紹介・連携している。
アルコールや薬物に比べ、医療機関以外とも連携している割合が高いことが分かる。
- ・薬物依存症：8医療機関すべてが専門病院・クリニックと紹介・連携関係にあるが、自助グループや回復支援施設、保健所などの支援団体と連携のある医療機関は半数を下回った。

2 調査結果の概要

(1) 依存症への対応状況について

まとめ



民間支援者

◆ 依存症の相談対応が可能な分野について

- ・回答のあったすべての民間支援者がアルコール依存症に対応している。
- ・ギャンブル等依存症及び薬物依存症に対応している民間支援者は少なく、それぞれ回答のあった民間支援者全体のうち2割程度であった。

◆ 患者本人や家族に対する相談支援の有無について

- ・民間支援者のうち、半数以上は家族又は本人向けに相談支援を実施している。
- ・相談支援を実施している民間支援者のほとんどが、本人及び家族の双方に対する相談に対応している。

◆ 依存症（アルコール、ギャンブル、薬物）に関して紹介・連携関係のある機関について

- ・主な関係機関（専門病院・クリニックや自助グループ、回復支援施設、保健所、精神保健福祉センター）と紹介・連携関係にあり、医療機関に比べ、連携先が多いことが分かる。
- ・弁護士や司法書士、保護観察所なども連携先として回答されていることから、個別のケースに応じて対応が必要な機関とも連携していることが分かる。

2 調査結果の概要

(1) 依存症への対応状況について

まとめ



行政機関

◆患者本人や家族に対する相談支援の有無について

- ・回答のあった行政機関のすべてが、本人及び家族向けに相談を実施している。
- ・そのほとんどが、本人及び家族の双方に対し相談を実施している。

◆依存症（アルコール、ギャンブル、薬物）に関して紹介・連携関係のある機関について

- ・ほとんどの行政機関が、主な関係機関（専門病院・クリニックやかかりつけ医、自助グループ、回復支援施設、保健所、精神保健福祉センター）と紹介・連携関係にある。
- ・弁護士や司法書士、保護観察所など、個別のケースに応じて対応が必要な機関とも連携しているケースが一定数ある。

2 調査結果の概要

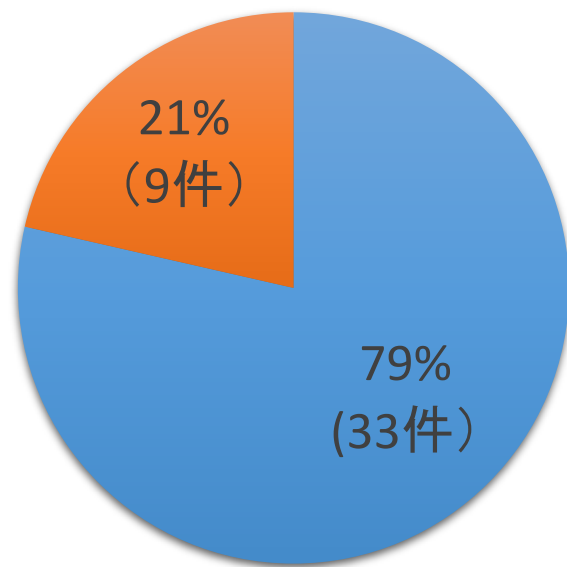
【調査項目】

- (1) 依存症への対応状況について
- (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて
- (3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

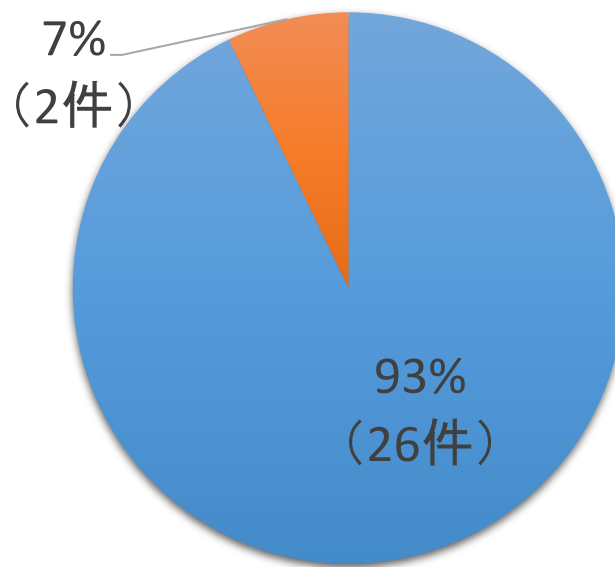
①現在、依存症の専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じますか？

医療機関(n=42)



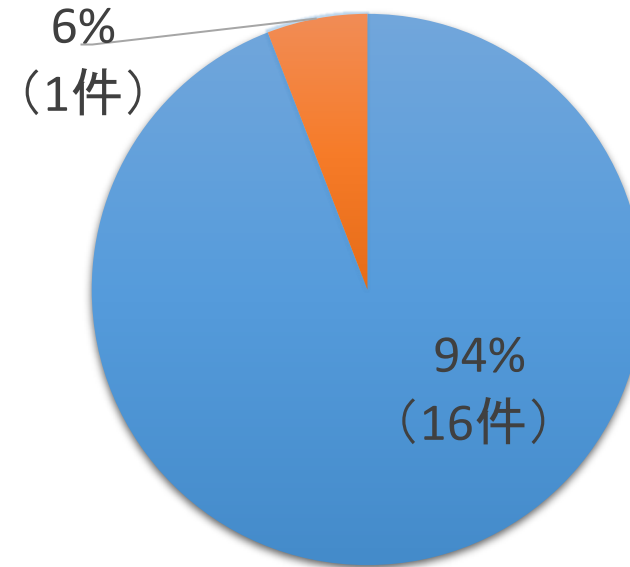
■はい ■いいえ

民間支援者(n=28)



■はい ■いいえ

行政機関(n=17)



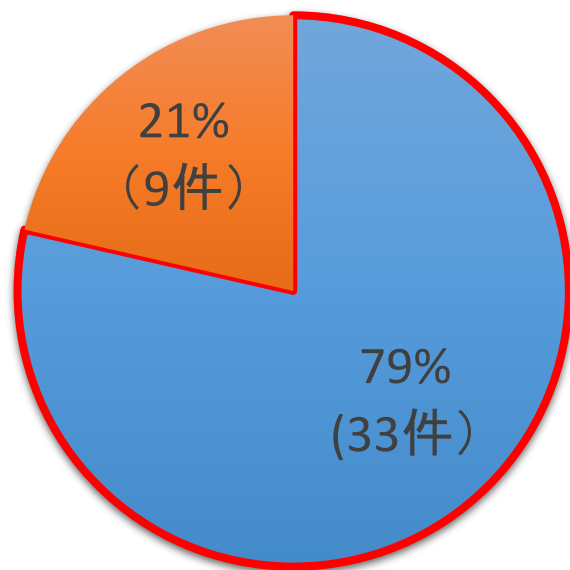
■はい ■いいえ

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

①現在、依存症の専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じますか？

「はい」と回答した場合

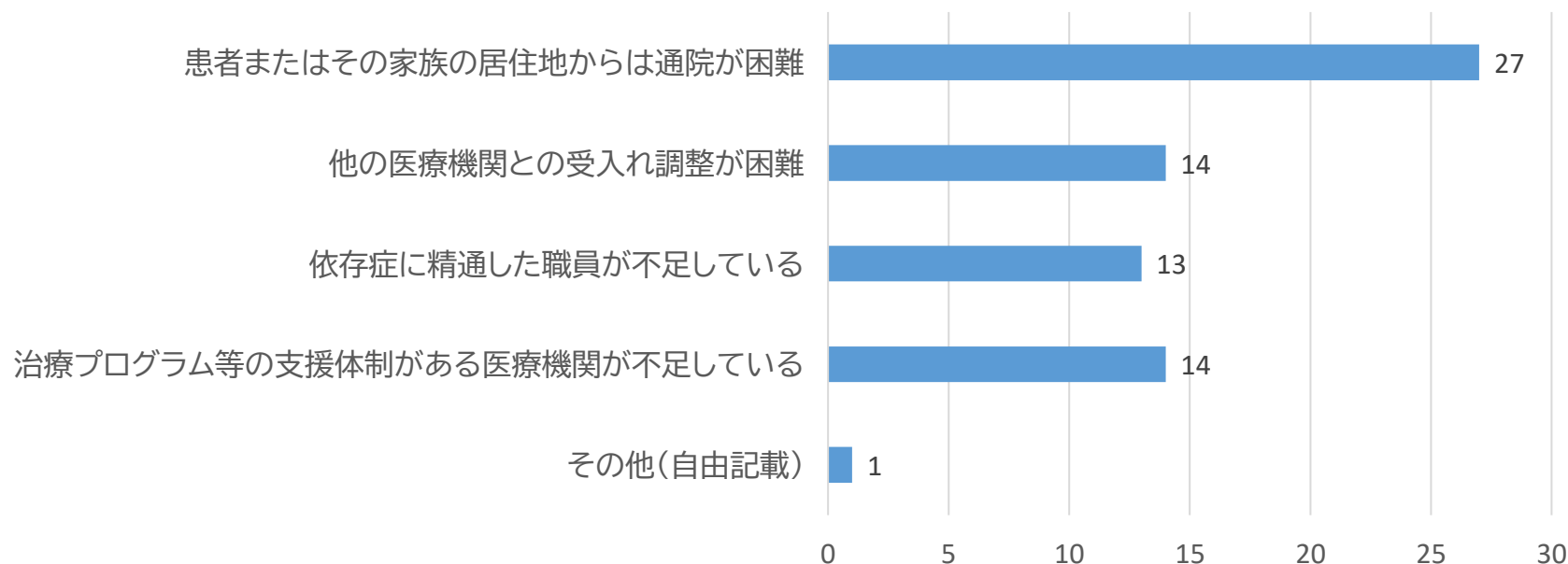
医療機関(n=42)



■ はい ■ いいえ

Kanagawa Prefectural Government

不足していると感じる理由や困っていることについて教えてください。（複数選択可）



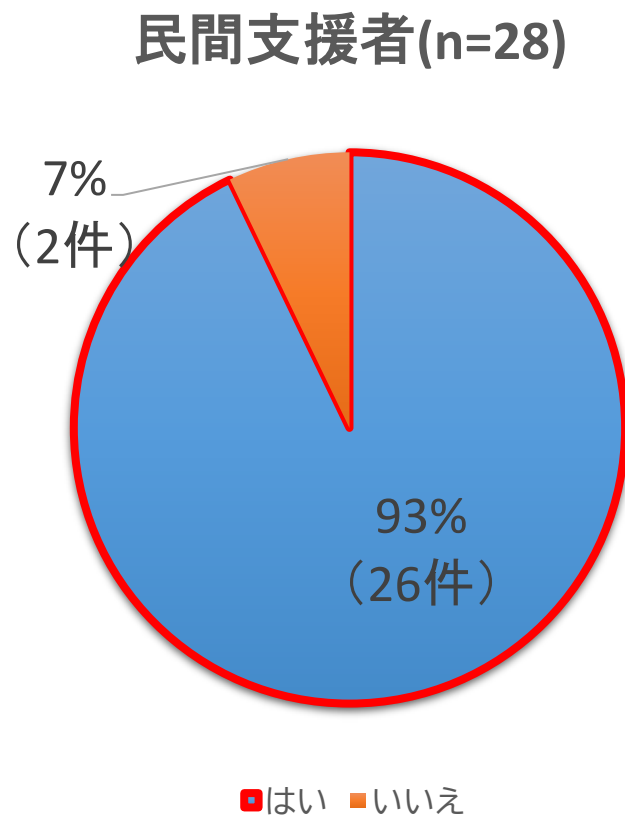
2 調査結果の概要

(2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

①現在、依存症の専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じますか？

「はい」と回答した場合

不足していると感じる理由や困っていることについて教えてください。（複数選択可）

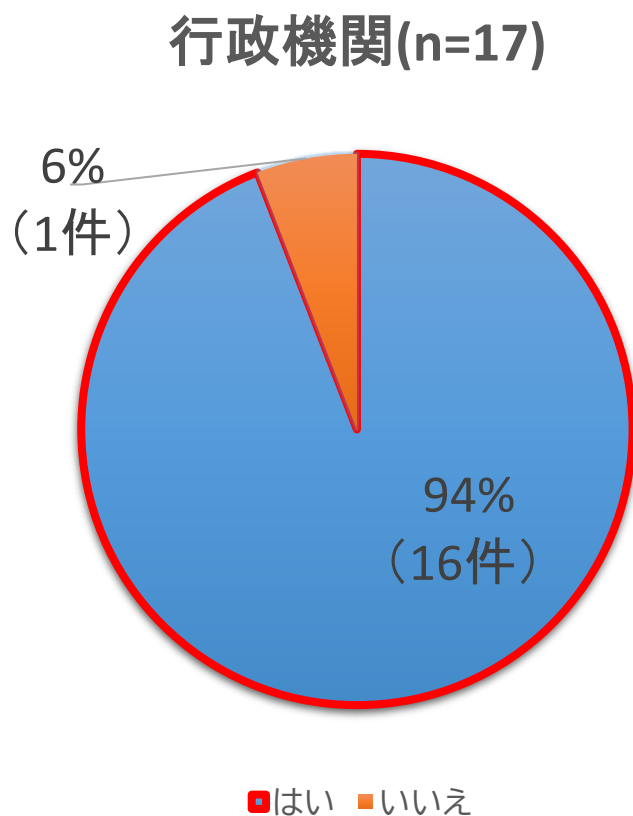


Kanagawa Prefectural Government



2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

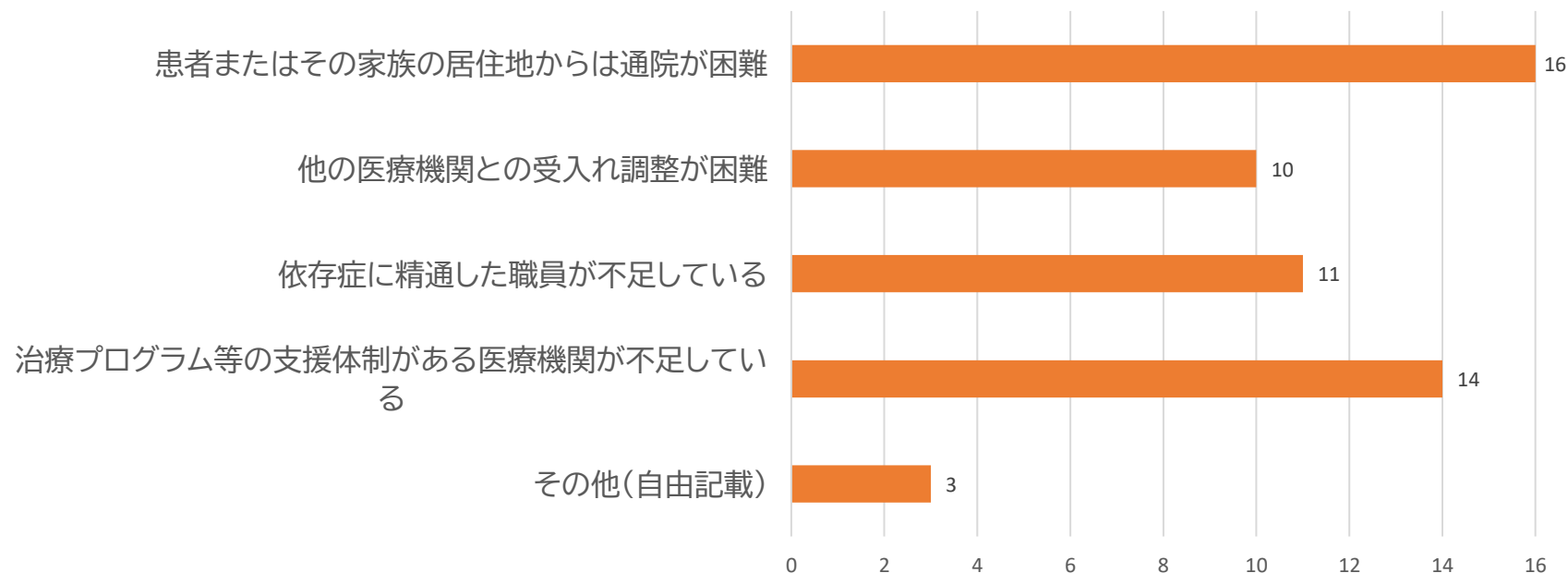
①現在、依存症の専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じますか？



Kanagawa Prefectural Government

「はい」と回答した場合

不足していると感じる理由や困っていることについて教えてください。（複数選択可）



2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

①現在、依存症の専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じますか？

不足していると感じる理由や困っていることについて教えてください。（複数選択可）

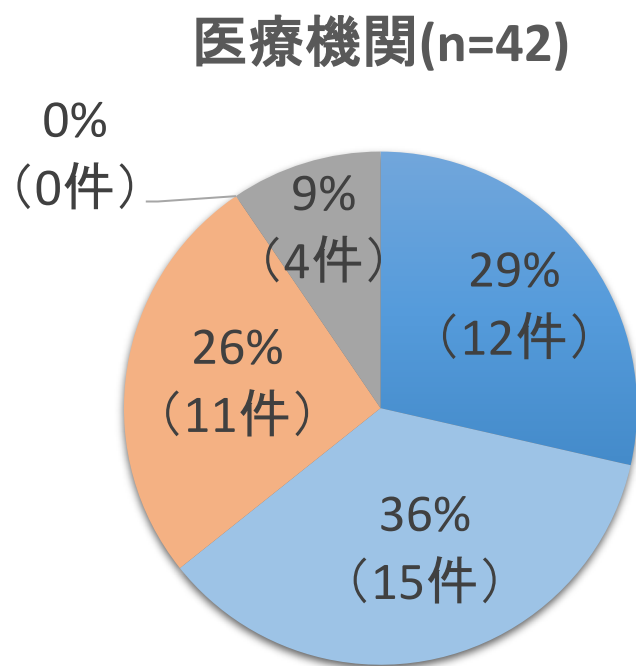
その他の回答

属性	主なご意見
医療機関	【サービスの拡充】・公的医療機関が積極性に欠ける。
民間支援者	【サービスの拡充】 ・外来予約がなかなか取れない。 ・地域に精神科のクリニックはあるがアルコールに関しては扱っていない。 ・相談窓口が少ない。 ・依存症クリニックはあっても病院が市内に無いことが、地域活動の集まり等ではいつも課題にあがる。 ・要入院のケースでは市外の後方医療へ頼らざるを得ないが時間的・距離的な不便さがある。 【連携強化】 ・別の診断がつき治療が遅れる。 ・身体科の治療のみで終わってしまいアルコールの問題に触れられることが少ない。 ・医療間での連携ができていない。 ・回復施設との連携がない。
行政機関	【サービスの拡充】・県央地域に極端に少ない。

2 調査結果の概要

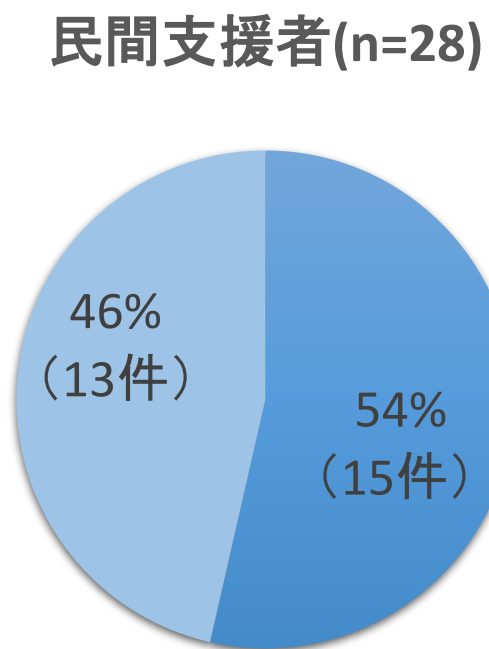
(2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？



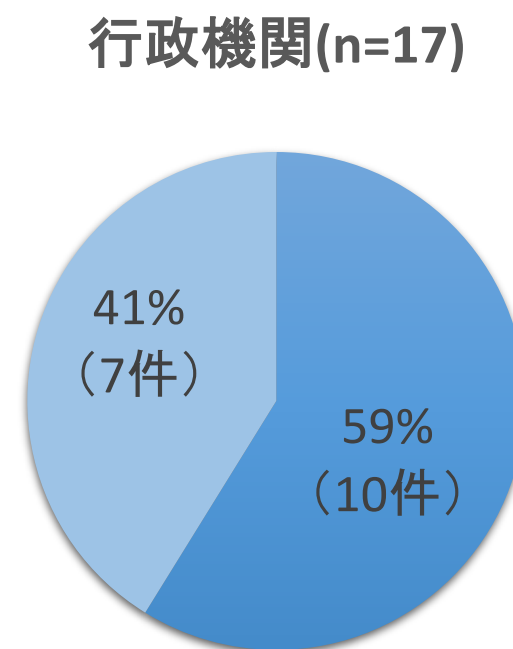
■とても感じる ■やや感じる ■あまり感じない
■全く感じない ■どちらでもない

Kanagawa Prefectural Government



■とても感じる ■やや感じる

※「あまり感じない」「全く感じない」「どちらでもない」は0件



■とても感じる ■やや感じる

※「あまり感じない」「全く感じない」「どちらでもない」は0件

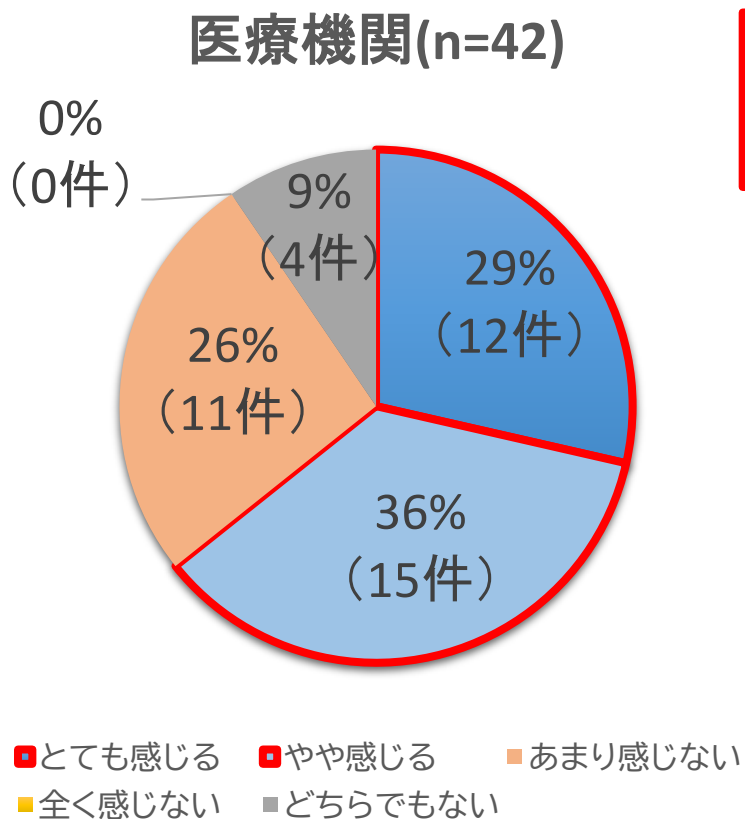
2 調査結果の概要

(2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

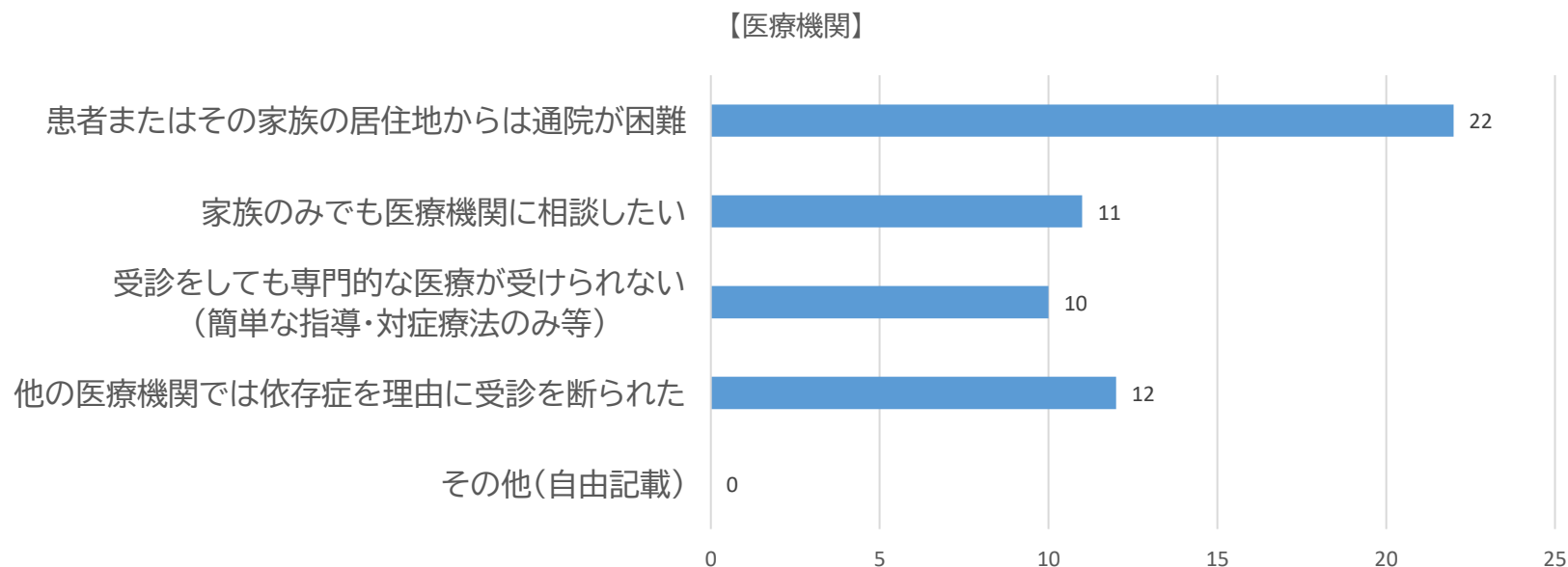
②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？

「とても感じる」「やや感じる」と回答した場合

実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて詳細を教えてください。（複数選択可）



Kanagawa Prefectural Government

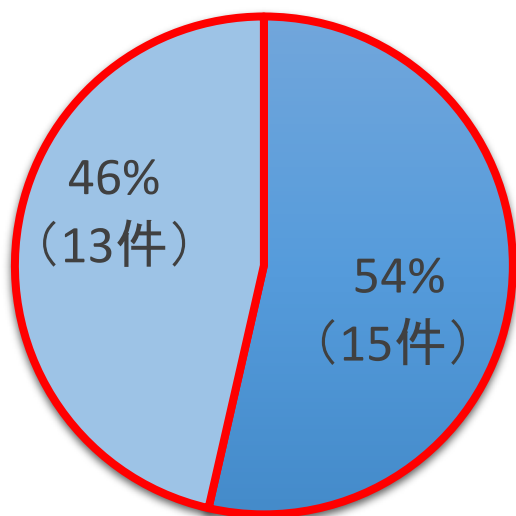


2 調査結果の概要

(2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？

民間支援者(n=28)



■とても感じる ■やや感じる

※「あまり感じない」「全く感じない」「どちらでもない」は0件

Kanagawa Prefectural Government

「とても感じる」「やや感じる」と回答した場合

実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて詳細を教えてください。（複数選択可）



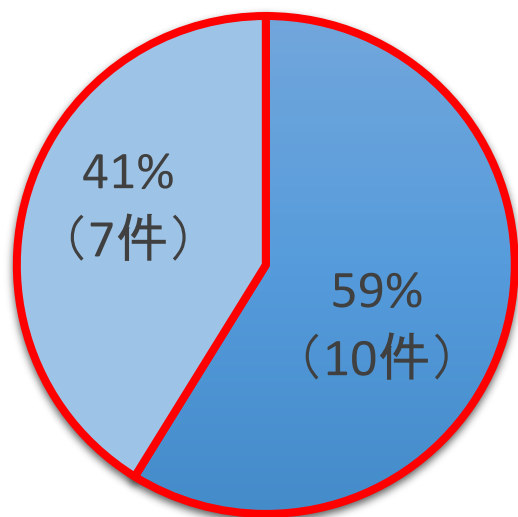
2 調査結果の概要

(2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？

「とても感じる」「やや感じる」と回答した場合

行政機関(n=17)

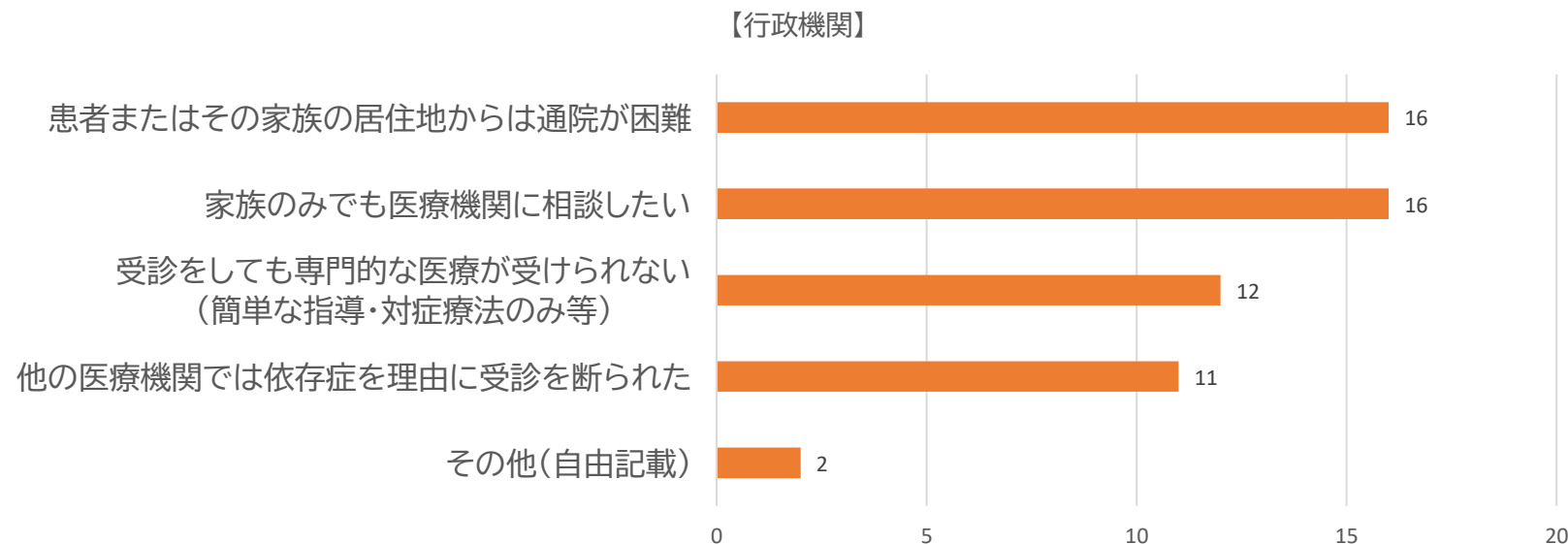


■とても感じる ■やや感じる

※「あまり感じない」「全く感じない」「どちらでもない」は0件

Kanagawa Prefectural Government

実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて詳細を教えてください。（複数選択可）



2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？

実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて詳細を教えてください。（複数選択可）

その他の回答

属性	主なご意見
民間支援者	【サービスの拡充】 ・ 高齢のため通院が困難。 ・ 依存症を診る治療機関が少ない。 ・ 入院に繋げる際の即応性や距離の負担軽減。 【連携強化】 ・ 身近で相談できる場所があってもスピード感をもって医療機関につなげることができない。 ・ 家族や支援者が依存症本人の対応に苦慮している。 【情報提供・啓発】 ・ アルコール依存症について早急で的確な情報提供が必要。 ・ 緊急解毒とその後の回復へ必要な情報提供が必要。
行政機関	【サービスの拡充】 ・ 治療関係が成立しない場合、病院の数が少ないため、選択肢がなく治療中断となりやすい。

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？

医療機関

どのようなサポートがあるとよいでしょうか。ご意見があればご記入ください（自由記載）

【サービスの拡充】

- 依存症を「病気」として社会的に認知させる取組が必要。
- 遠方の場合、通院中断となりやすいことが課題。

【連携強化】

- 依存症と診断されていないケースや主病名ではないが依存症疑いがある場合の治療が困難。

【情報提供・啓発】

- 本人や家族が依存症について正しい知識がなく、対応方法が分からないケースが多い。

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？

民間支援者

どのようなサポートがあるとよいでしょうか。ご意見があればご記入ください（自由記載）

【サービスの拡充】

- 依存症専門医療機関または依存症の専門的治療が可能な医療機関が地域にもっと増えてほしい。（4件）
- アルコール依存症の専門治療プログラムを持つ病院を増やしてほしい。
- 心理師によるカウンセリングを導入。
- 症状が悪化する前に自助グループを紹介できる医療・福祉・公共機関のサポートが必要。

Kanagawa Prefectural Government

【連携強化】

- 依存症専門医療機関と一般の医療機関の連携が不足している。
- 患者が最初の一步を踏み出しやすい環境を整えることが重要。

【情報提供・啓発】

- 依存症に関する知識について、医療機関からも正しい情報を発信してほしい。（2件）
- アルコール依存症の怖さを知り、自助グループ等につながる支援を強化してほしい。（2件）
- 医療機関が自助グループを治療法の一つとして活用できるようにしてほしい。（2件）

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

②患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的医療を希望しているとどの程度感じますか？

行政機関

どのようなサポートがあるとよいでしょうか。ご意見があればご記入ください（自由記載）

【サービスの拡充】

- 依存症専門医療機関以外の精神科医療機関でも依存症の受診を受け入れてほしい。（3件）
- 知的能力が低い方への複合的な支援が必要。
- オンライン診療や訪問診療を導入し、選択肢を広げてほしい。
- 医療機関がマイナスにならない報酬と、医療機関や相談機関が丁寧に相談に乗れる人員体制が必要

【連携強化】

- 医療機関、回復支援施設、保健所の連携を強化してほしい。
- 支援が可能な相談機関や自助グループが近隣に必要。

【情報提供・啓発】

- 家族や本人向けに依存症治療の情報（リーフレット等）を提供してほしい。

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

まとめ



医療機関

- ◆ 依存症の専門的治療が可能な医療機関について
 - ・ 回答があった医療機関のうち約 8 割の医療機関が、不足していると感じていると回答している。
- ◆ 専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じている理由や困っていることについて
 - ・ 全体の 8 割以上が「患者またはその家族の居住地から通院が困難」と回答している。
- ◆ 患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的治療を希望していると感じているかについて
 - ・ 回答のあった医療機関のうち 6 割以上が「とても感じる」または「やや感じる」と回答している。
- ◆ 実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて
 - ・ 8 割以上の医療機関が、「患者またはその家族の居住地からは通院が困難」と回答している。
 - ・ 「家族のみでも医療機関に相談したい」、「受診をしても専門的な医療が受けられない」、「他の医療機関では依存症を理由に受診を断られた」と回答している医療機関も全体の 4 割程度であった。
- ◆ 地域の課題を解消するための主な提案
 - ・ 依存症が病気であることについて、患者やその家族を含め、社会全体に周知していくことが挙げられている。

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

まとめ



民間支援者

- ◆ 依存症の専門的治療が可能な医療機関について
 - ・民間支援者のほとんどが不足を感じている。
- ◆ 依存症の専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じる理由や困っていることについて
 - ・全体の6割以上が、「患者またはその家族の居住地から通院が困難」、「依存症に精通した職員が不足している」と回答している。
 - ・全体の半数の民間支援者が、「治療プログラム等の支援体制がある病院が不足している」と回答している。
- ◆ 患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的治療を希望していると感じるかについて
 - ・すべての民間支援者が、「とても感じる」または「やや感じる」と回答している。
- ◆ 実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて
 - ・全体の半数の民間支援者が、「患者またはその家族の居住地からは通院が困難」、「家族のみでも医療機関に相談したい」、「受診をしても専門的な医療が受けられない」と回答している。
- ◆ 地域の課題を解消するための主な提案
 - ・依存症に関する正しい情報の普及啓発の強化
 - ・依存症専門医療機関とそうでない医療機関との連携強化
 - ・自助グループへのつなぎ支援の強化が挙げられている。

2 調査結果の概要 (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて

まとめ



行政機関

- ◆ 依存症の専門的治療が可能な医療機関について
 - ・ほとんどの行政機関が不足していると感じている。
- ◆ 依存症の専門的治療が可能な医療機関が不足していると感じる理由や困っていることについて
 - ・すべての行政機関が「患者またはその家族の居住地から通院が困難であると感じている」と回答している。
 - ・治療プログラム等の支援体制がある医療機関の不足を感じていると回答している行政機関も多い。
 - ・行政機関の6割以上が、「他の医療機関との受入れ調整が困難」、「依存症に精通した職員が不足している」と回答している。
- ◆ 患者またはその家族が、近隣での依存症の専門的治療を希望していると感じるかについて
 - ・すべての行政機関が、「とても感じる」または「やや感じる」と回答している。
- ◆ 実際に相談を受けた内容等、患者及びその家族のニーズについて
 - ・ほとんどの行政機関が、「患者またはその家族の居住地からは通院が困難である」、「家族のみでも医療機関に相談したい」と回答している。
 - ・「受診をしても専門的な医療が受けられない」、「他の医療機関では依存症を理由に受診を断られた」と回答している行政機関はそれぞれ6割を超えた。
- ◆ 地域の課題を解消するための主な提案
 - ・依存症専門医療機関ではない精神科医療機関における一時的な受入れ体制の整備
 - ・オンライン診療や訪問支援等を活用した近隣での支援体制

2 調査結果の概要

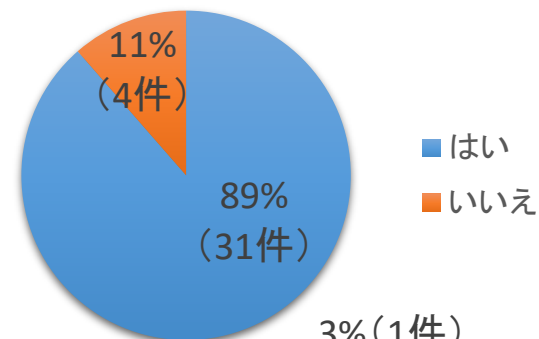
【調査項目】

- (1) 依存症への対応状況について
- (2) 依存症専門医療に関する地域の困りごとについて
- (3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

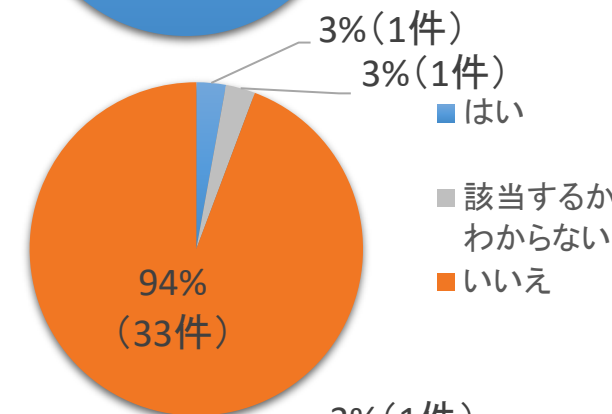
2 調査結果の概要

(3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

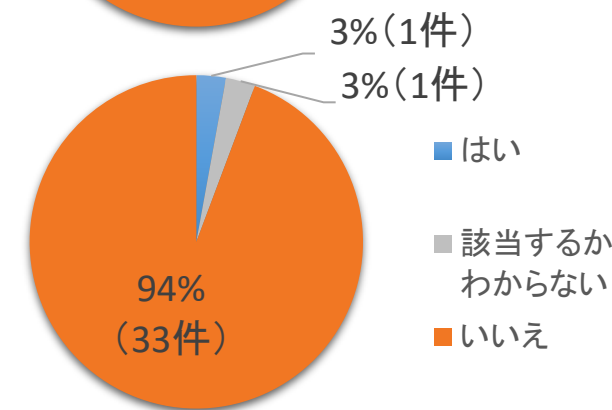
①精神保健指定医又は、公益社団法人日本精神神経学会認定の精神科専門医が1名以上配置されていますか？（n=35）



②依存症の専門性を有した医師が担当する入院医療を行っていますか？（n=35）



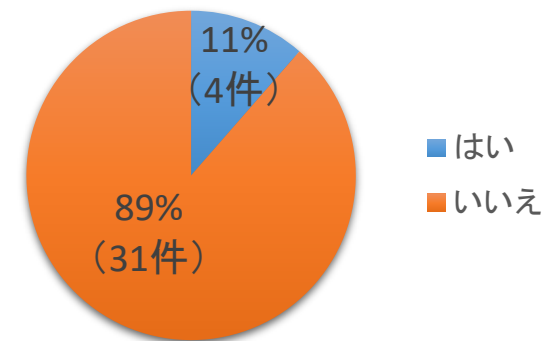
③認知行動療法などの依存症に特化した専門プログラムを有する外来医療プログラムを行っていますか？（n=35）



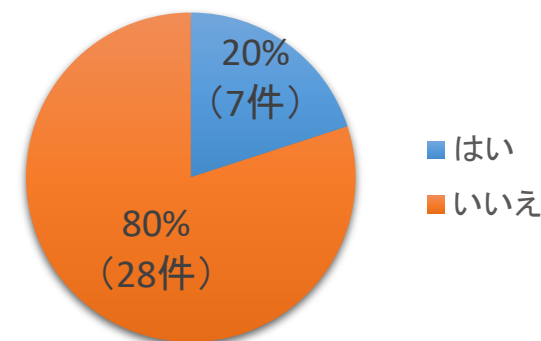
2 調査結果の概要

(3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

④ 依存症に係る研修のいずれか一つを修了した医師が1人以上配置されていますか？ (n=35)



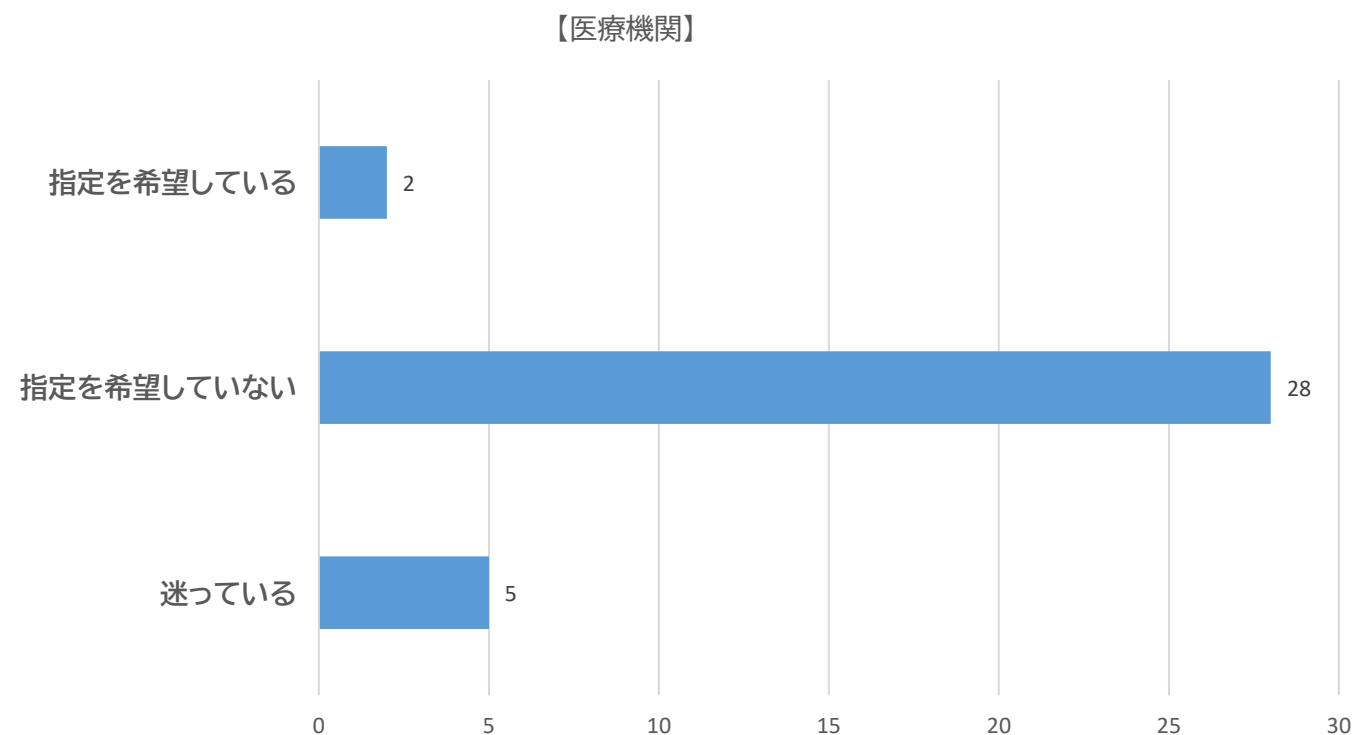
⑤ 依存症に係る研修を修了した看護師、作業療法士、精神保健福祉士又は臨床心理技術者のいずれかが少なくとも1名以上配置されていますか？ (n=35)



2 調査結果の概要

(3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

⑥ 依存症専門医療機関として県の指定を受けることについて、検討状況を教えてください。



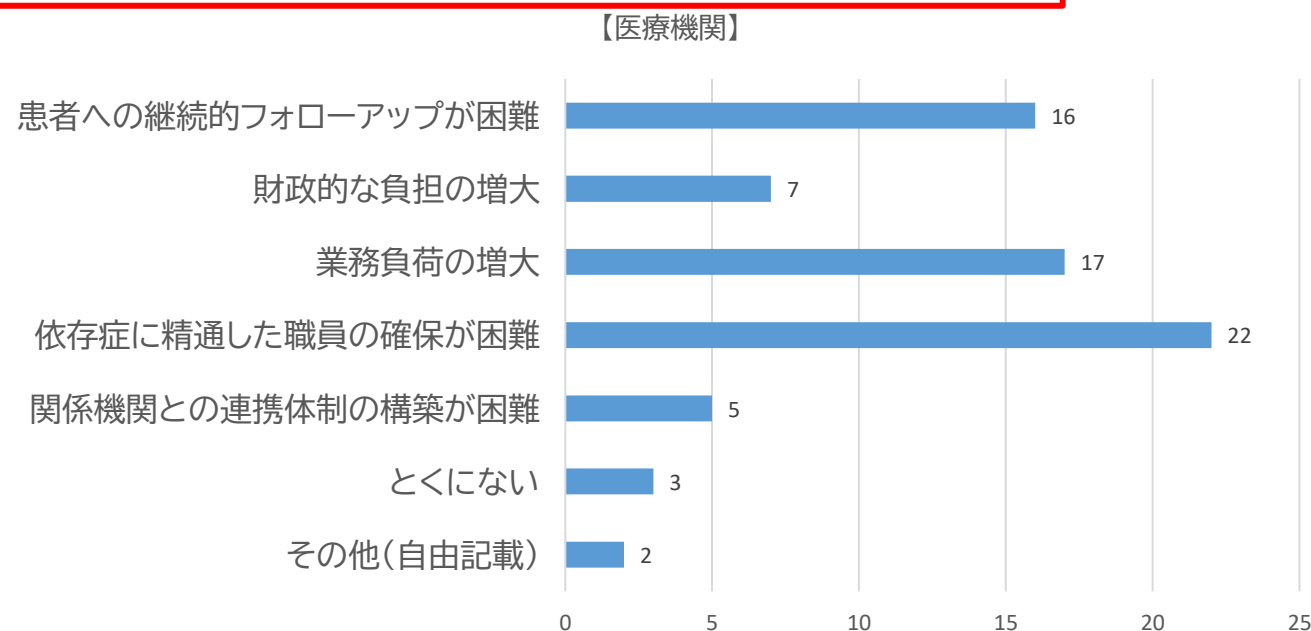
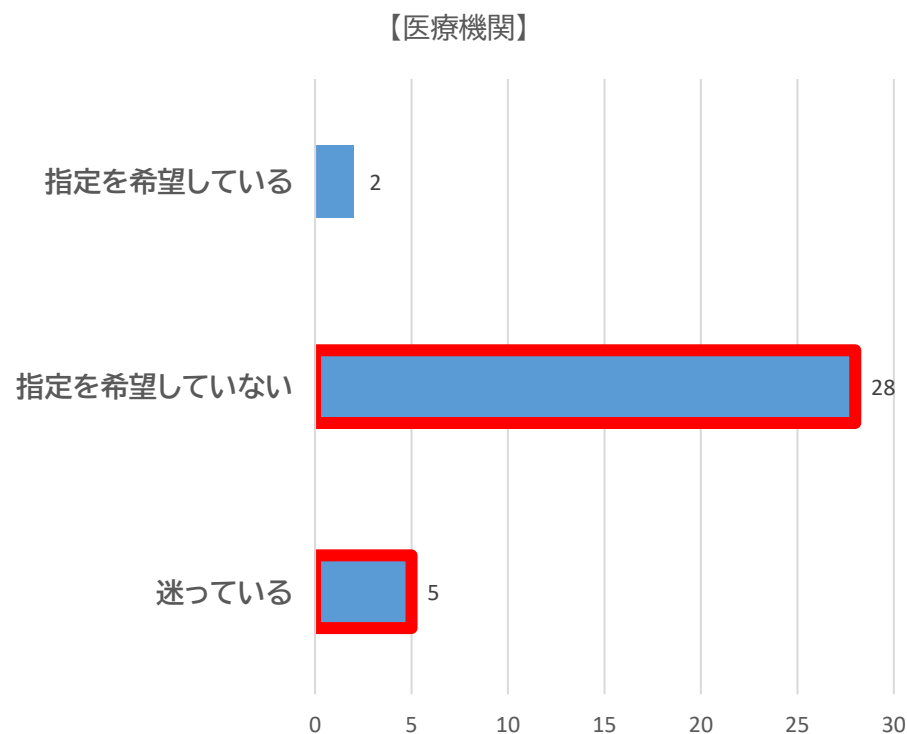
2 調査結果の概要

(3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

⑥ 依存症専門医療機関として県の指定を受けることについて、検討状況を教えてください。

(「指定を希望していない」「迷っている」と答えた場合)

その理由について教えてください



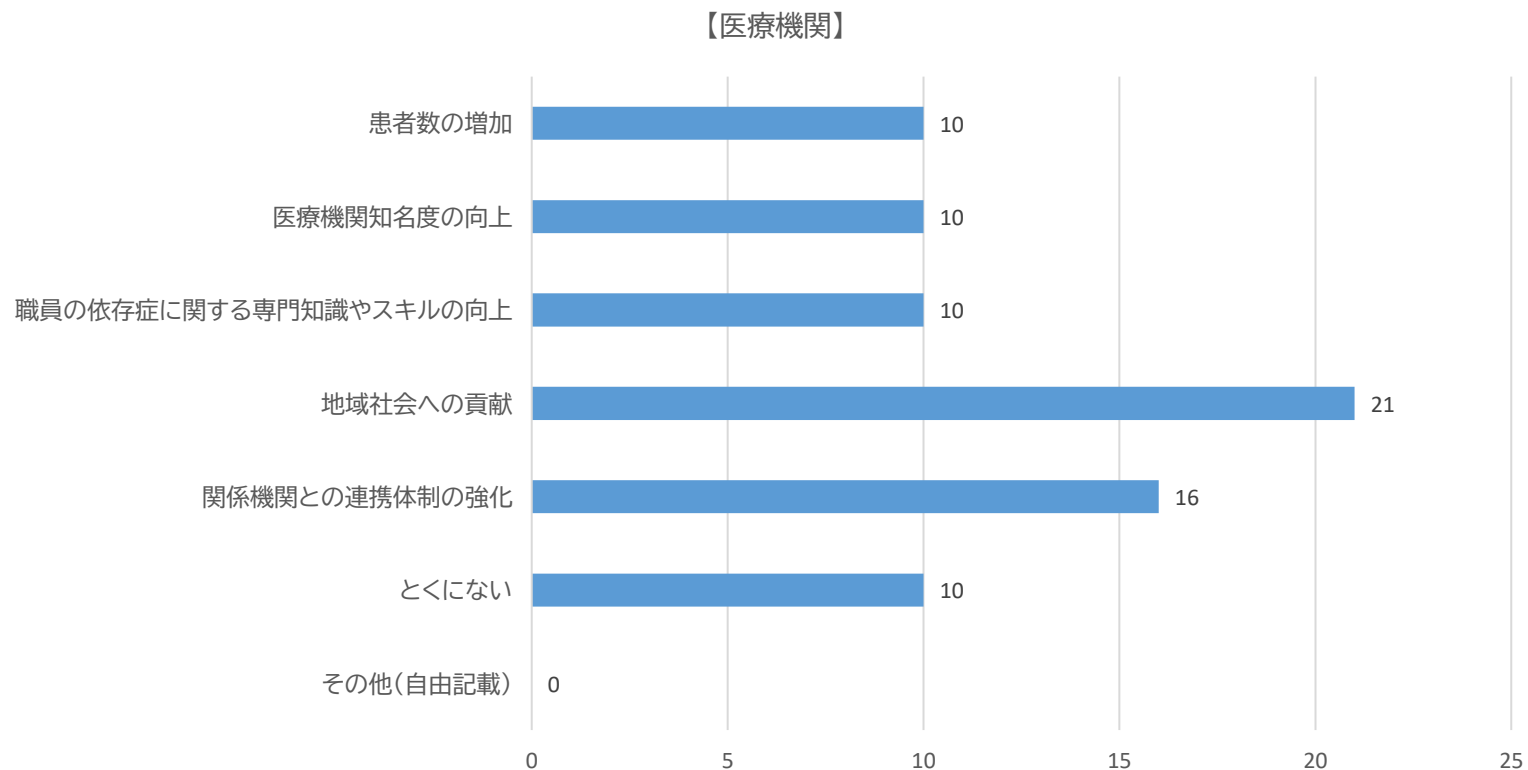
■ 自由記載

- ・ スタッフ及びハード面での体制維持が困難。
- ・ 専門的な治療は実施していないため

2 調査結果の概要

(3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

⑦ 依存症専門医療機関として指定された場合、医療機関としてどのような効果（メリット）を期待しますか？



2 調査結果の概要

(3) 依存症専門医療に関する提供体制の現状について

まとめ



精神科を標榜する医療機関

- ◆ 依存症専門医療機関として県の指定を受けることへの検討について、
 - ・「指定を希望していない」と回答している精神科を標榜する医療機関はほとんどであった。
 - ・「指定を希望している」または「迷っている」と回答している医療機関も複数あった。
- ◆ 依存症専門医療機関として指定された場合に期待される効果（メリット）
 - ・「地域社会への貢献」と回答している医療機関が最も多く、精神科を標榜する医療機関の6割であった。
 - ・「関係機関との連携体制の強化」と回答している医療機関は、精神科を標榜する医療機関の5割程度であった。
- ◆ 依存症専門医療機関としての「指定を希望していない」または「迷っている」と回答する理由について
 - ・「依存症に精通した職員の確保が困難」と回答している医療機関が最も多く、精神科を標榜する医療機関の6割を超えた。
 - ・「患者への継続的フォローアップが困難」、「業務負荷の増大」と回答した医療機関が多く、精神科を標榜する医療機関の4割を超えた。

終了

Fin